

自己採点方式について

令和3年4月1日
下関市総務部契約課

1. 自己採点方式の概要

総合評価方式を適用する入札において、技術提案資料と、入札参加者が自ら採点した「自己採点表」の提出を受けて開札し、入札額と自己採点表に基づいて評価値の算定を行い、評価値1位の者の自己採点表の内容を技術提案資料によって審査して落札候補者を決定する方式です。

2. 対象

自己採点方式は、次に該当する工事から選定します。

①工種

全ての工事種別

②総合評価方式の型式

特別簡易型を適用する工事

3. 手続きの概要

(1) 公告段階

入札公告に、自己採点方式を適用し、開札後に入札額及び自己採点表に基づき評価値を算定し、評価値1位の者について、技術提案資料の審査を行う旨を記載します。

(2) 入札書提出段階

入札参加者は、入札書及び技術提案資料とともに、自己採点表を提出します。(別紙様式)

(3) 評価段階

提出された自己採点表に基づき、加算点を算定します。ただし、次の評価項目については、市が審査した評価点によるものとします。

- ・ 過去2年間（建築一式工事は過去4年間）の下関市発注工事における工事成績評定点（同種工事）の平均点

自己採点表の評価項目について、未記入がある場合、その項目の評価点は、0点（指名停止措置の有無に関する項目については-1点）とします。

(4) 開札段階

開札を行い、評価値を算定します。

(5) 自己採点表の審査段階

評価値1位の者について、自己採点表を技術提案資料に基づき審査します。

自己採点表の審査の結果、各評価項目の自己採点に誤りがない場合、評価値1位の者を落札者候補者とします。

自己採点表の審査の結果、各評価項目の評価点に誤りがあった場合、次のとおり取扱います。

① 自己採点が過大評価の場合（自己採点が審査結果より高かった場合）

審査結果による得点を評価点とする。

② 自己採点が過小評価の場合（自己採点が審査結果より低かった場合）

自己採点による得点を評価点とする。

③ 審査の結果、評価値1位の者に変動があった場合

変動後の評価値1位の者について、自己採点表を技術提案資料に基づき審査する。以降、落札候補者が決定するまで自己採点表の審査を行うものとする。

4. 自己採点方式の留意事項

- 自己採点方式では、原則、評価値2位以下の者の自己採点表を審査しないため、公表する評価点及び評価値は、正しいものとは限りません。
- 自己採点表が未提出の場合、入札を無効とします。
- 提出された自己採点表の書換え、引換え又は撤回をすることはできません。
- 自己採点表と技術提案資料の審査において、疑義が生じた場合、必要に応じて詳細な資料の提出を求めた上で、ヒアリングを行うことがあります。この場合において、資料提出やヒアリングに応じないときは、入札を無効とします。
- ヒアリングの結果、虚偽の記載をしたことが確認された場合、下関市競争入札参加有資格者指名停止等措置要綱に基づく措置を行うことがあります。

自己採点表 (特別簡易型)

商号又は名称 :

工 事 名 :

評価項目	評価基準	配点	自己採点	市記入欄		
				審査欄	備考	
企業の技術的能力	過去8年間の同種工事（公共工事）の施工実績の有無	指定金額以上の実績あり	2	/		
		指定金額の2分の1以上の実績あり	1			
		指定金額の2分の1以上の実績なし	0			
	過去2年間（建築一式工事は過去4年間）の下関市発注工事における工事成績評定点（同種工種）の平均点	80点以上	2			
		75点以上、79点以下	1.5			
		70点以上、74点以下	1			
		65点以上、69点以下	0.5			
		60点以上、64点以下、又は実績なし	0			
		59点以下	-0.5			
	過去2年間の指名停止措置の有無	措置なし	0			
		措置あり	-1			
	過去3年間の優良工事表彰の有無	表彰あり	1			
		表彰なし	0			
	ISO9001、ISO14001の取得状況、環境への配慮（エコマネジメント等）	何れか1つを認証取得している	1			
		認証取得していない	0			
労働安全衛生マネジメント等の取得状況	認証取得している	1				
	認証取得していない	0				
作業船の保有状況	主作業船のうち、いずれかを自社保有している	1				
	主作業船のうち、いずれかを共同保有している	0.5				
	いずれの主作業船も保有していない	0				
小計		8				
配置し技術者の能力組及び	主任（監理）技術者の保有する資格	〇〇〇〇施工管理技士又は技術士と同等	2			
		〇〇〇〇施工管理技士と同等	1			
		上記以外	0			
	過去8年間の主任（監理）技術者の同種工事（公共工事）の施工経験の有無	指定金額以上の施工経験あり	1			
		指定金額の2分の1以上の実績あり	0.5			
		指定金額の2分の1以上の施工経験なし	0			
	継続学習（CPD）の取組状況	各団体推奨単位以上を取得しており継続教育の証明がある	1			
		取得していない	0			
	技能士等の活用	活用あり	1			
		活用なし	0			
	担い手確保の取組	A及びBの両方に該当する	1			
A又はBのいずれか一方に該当する		0.5				
A又はBのいずれにも該当しない		0				
小計		6				
地域精通	地理的条件	工事場所のある地域に本店がある	2			
		上記以外の地域で市内に本店がある	1			
		市外に本店がある	0			
地域貢献度	過去5年間の災害時緊急対応出動実績	下関市災害等緊急協力事業者登録制度に登録があり、出動実績がある	1			
		登録はあるが、出動実績がない	0.5			
		登録がない	0			
	過去3年間の市内在住者の新規雇用の有無	雇用あり	1			
		雇用なし	0			
	その他の取組	A～Eのいずれか2項目以上に該当する	1			
		A～Eのいずれか1項目に該当する	0.5			
		A～Eのいずれにも該当しない	0			
	小計		5			

自己採点表
(特別簡易型)

商号又は名称 : ○○建設株式会社

工事名 : ○○工事

評価項目	評価基準	配点	自己採点	市記入欄		
				審査欄	備考	
企業の技術的能力	過去8年間の同種工事（公共工事）の施工実績の有無	指定金額以上の実績あり	2	1		
		指定金額の2分の1以上の実績あり	1			
		指定金額の2分の1以上の実績なし	0			
	過去2年間（建築一式工事は過去4年間）の下関市発注工事における工事成績評定点（同種工種）の平均点	80点以上	2	/		
		75点以上、79点以下	1.5			
		70点以上、74点以下	1			
		65点以上、69点以下	0.5			
		60点以上、64点以下、又は実績なし	0			
		59点以下	-0.5			
	過去2年間の指名停止措置の有無	措置なし	0	0		
		措置あり	-1			
	過去3年間の優良工事表彰の有無	表彰あり	1	1		
		表彰なし	0			
	ISO9001、ISO14001の取得状況、環境への配慮（エコマネジメント等）	何れか1つを認証取得している	1	1		
		認証取得していない	0			
労働安全衛生マネジメント等の取得状況	認証取得している	1	1			
	認証取得していない	0				
作業船の保有状況	主作業船のうち、いずれかを自社保有している	1	0			
	主作業船のうち、いずれかを共同保有している	0.5				
	いずれの主作業船も保有していない	0				
小計		8				
配置担い手確保の能力及び	主任（監理）技術者の保有する資格	1級土木施工管理技士又は技術士と同等	2	1		
		2級土木施工管理技士と同等	1			
		上記以外	0			
	過去8年間の主任（監理）技術者の同種工事（公共工事）の施工経験の有無	指定金額以上の施工経験あり	1	1		
		指定金額の2分の1以上の実績あり	0.5			
		指定金額の2分の1以上の施工経験なし	0			
	継続学習（CPD）の取組状況	各団体推奨単位以上を取得しており継続教育の証明がある	1	1		
		取得していない	0			
	技能士等の活用	活用あり	1	1		
		活用なし	0			
担い手確保の取組	A及びBの両方に該当する	1	0.5			
	A又はBのいずれか一方に該当する	0.5				
	A又はBのいずれにも該当しない	0				
小計		6	4.5			
地域精通	地理的条件	工事場所のある地域に本店がある	2	2		
		上記以外の地域で市内に本店がある	1			
		市外に本店がある	0			
地域貢献度	過去5年間の災害時緊急対応出動実績	下関市災害等緊急協力事業者登録制度に登録があり、出動実績がある	1	0.5		
		登録はあるが、出動実績がない	0.5			
		登録がない	0			
	過去3年間の市内在住者の新規雇用の有無	雇用あり	1	1		
		雇用なし	0			
	その他の取組	A～Eのいずれか2項目以上に該当する	1	0.5		
		A～Eのいずれか1項目に該当する	0.5			
A～Eのいずれにも該当しない		0				
小計		5	4			